

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 日作成)

小委員会名	木質系住宅の振動障害に関する小委員会	主 査 名：塩田正純 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：和田 章 主 査 名：宮澤健二
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体振動を考慮した木質住宅の振動障害の現状の把握や評価等級の提案</li> <li>・木質住宅の振動性状に関する文献の調査</li> <li>・実測から振動障害の原因の探求</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 塩田正純(工学院大) 中村昇(秋田県立大) 佐野泰之(アクト音響) 伊積康彦(鉄道総研) 入江康隆(宇都宮大) 梶川久光(ミサワホーム) 川本聖一(三菱地所ホーム) 小島由紀夫(積水ハウス) 新藤智(法政大) 藤野栄一(能率開発大) 松本泰尚(埼玉大) 守屋嘉晃(建材試験センター)	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2008 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無: なし 委員会 HP アドレス:

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 3 つのテーマを決め、文献や測定事例を調査し、検討を行った。 2. 木質構造の分野と環境振動の分野がそれぞれで抱えている問題点や課題が明らかになった。
委員会活動の問題点・課題	1. 振動感覚の個人差をどのように考慮し、評価することが課題である。 2. 振動障害が起こる原因についてさらに検討する必要がある。